

RS2100

リング スキャナ



ZEBRA

クイック スタート ガイド

2024/04/23

ZEBRA および図案化された Zebra ヘッドは、Zebra Technologies Corporation の商標であり、世界各地の多数の法域で登録されています。その他のすべての商標は、該当する各所有者が権利を有しています。©2024 Zebra Technologies Corporation および/またはその関連会社。無断複写、転載を禁じます。

本書の内容は、予告なしに変更される場合があります。本書で説明するソフトウェアは、使用許諾契約または秘密保持契約に基づいて提供されます。本ソフトウェアの使用またはコピーは、これらの契約の条件に従ってのみ行うことができます。

法的事項および所有権に関する表明の詳細については、以下を参照してください。

ソフトウェア: zebra.com/linkoslegal.

著作権および商標: zebra.com/copyright.

特許: ip.zebra.com.

保証: zebra.com/warranty.

エンドユーザー ソフトウェア使用許諾契約: zebra.com/eula.

使用の条件

所有権の表明

本書には、Zebra Technologies Corporation およびその子会社 (「Zebra Technologies」) に所有権が属している情報が含まれています。本書は、本書に記載されている機器の操作および保守を行うユーザーに限り、情報の閲覧とその利用を目的として提供するものです。当社に所有権が属している当該情報に関しては、Zebra Technologies の書面による明示的な許可がない限り、他の目的で利用、複製、または第三者へ開示することは認められません。

製品の改善

Zebra Technologies は、会社の方針として、製品の継続的な改善を行っています。すべての仕様や設計は、予告なしに変更される場合があります。

免責条項

Zebra Technologies では、公開されているエンジニアリング仕様およびマニュアルに誤りがないように、万全の対策を講じていますが、まれに誤りが発生することがあります。Zebra Technologies は、かかる誤りを修正する権利を留保し、その誤りに起因する責任は負わないものとします。

責任の限定

業務の逸失利益、業務の中断、業務情報の損失などを含めて、またはこれらに限定することなく、当該製品の使用、使用の結果、またはその使用不能により派生した損害に関しては、いかなる場合でも、Zebra Technologies、あるいは同梱製品 (ハードウェアおよびソフトウェアを含む) の開発、製造、または納入に関与したあらゆる当事者は、損害賠償責任を一切負わないものとします。さらにこれらの損害の可能性を事前に指摘されていた場合でも、損害賠償責任を一切負わないものとします。一部の法域では、付随的または派生的損害の除外または制限が認められないため、上記の制限または除外はお客様に適用されないことがあります。

パッケージの開梱

スキャナを覆っている保護材を慎重にすべて取り外し、後で保管や搬送に使えるように、梱包箱を保管しておきます。

箱に次のものが含まれていることを確認してください。

- RS2100
- 規制ガイド

破損している機器がないかどうかを確認してください。機器が足りない場合、または破損している機器がある場合は、すぐにサポートに連絡してください。

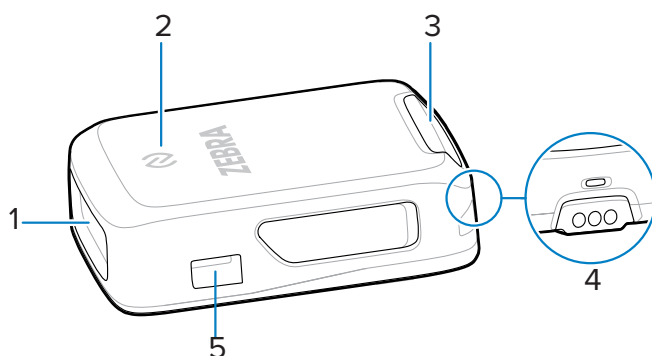


重要：RS2100 は出荷モードで出荷されます。これは、バッテリーを保護する低電力モードです。出荷モードを終了するには、スキャントリガを押すか、スキャナを充電します。

機能

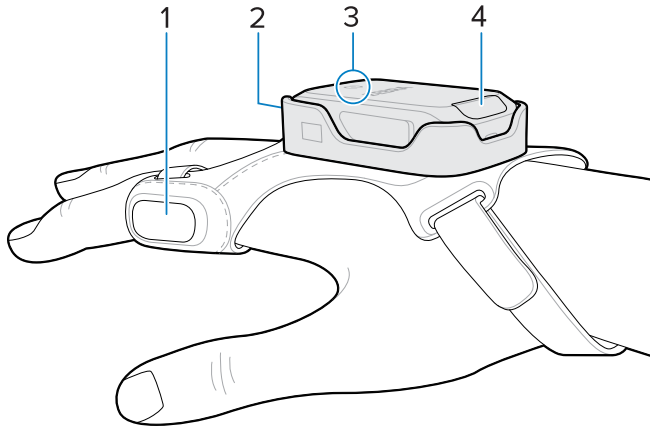
このセクションでは、RS2100 の機能について説明します。

図 1 側面図



1	イメージャ ウィンドウ
2	NFC アイコン
3	通知 LED
4	IO 接点
5	タブ ノッチ

図2 取り付けられたスリム マウントの側面図



1	スキャントリガ
2	イメージ ウィンドウ
3	NFC アイコン
4	通知 LED

ステータス表示

デバイス背面の RS2100 通知 LED は Bluetooth、バッテリー、および読み取りステータスを示し、。ビープ音のシーケンスやパターンによって、ステータスが示されます。

次の表で、通知 LED とビープ音シーケンスによるステータス表示が定義されています。

カテゴリ	LED 表示	ビープ音通知	説明
電源表示	緑色	低音/中音/高音	デバイスの電源が入っています。
スキャン表示	緑色で 1 回点滅	高	バーコードの読み取りに成功しました。
	赤色	低音 4 回	転送エラーです。
	赤色	低音 5 回	変換またはフォーマットに関するエラーが発生しています。
無線表示	赤色/緑色で点滅	低音/高音/低音/高音	バッチストレージのメモリが足りません。新しいバーコードを保存できません。
	青色で 2 回点滅	短い高音 6 回	デバイスが呼び出し状態です。
		高音/低音	Bluetooth 通信が切断されました。

RS2100 クイック スタート ガイド

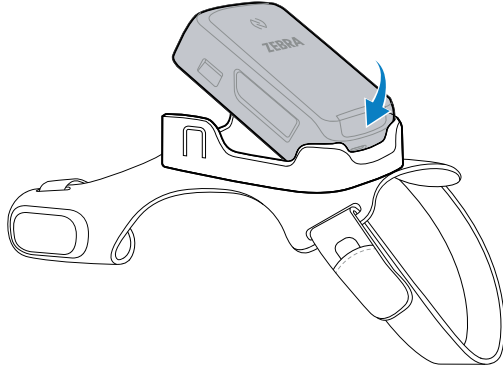
カテゴリ	LED 表示	ビープ音通知	説明
	青色でゆっくり点滅	なし	Bluetooth 経由で再接続を試みています。
	なし	低音/高音	Bluetooth 接続が確立されました。
	なし	長い低音/長い高音	Bluetooth 接続の試行が失敗しました。
	ビープ音シーケンス中は青色	長い低音/長い高音/ 長い低音/長い高音	Bluetooth 接続の試行が拒否されました。
	青色でゆっくり点滅	高音 5 回	Bluetooth 経由で再接続を試みています (デフォルトでは無効)。
	青色で点滅	高音 3 回	Bluetooth の切断表示 (デフォルトでは無効)。
バッテリー表示	赤色	高音 4 回	バッテリーの残量が少なくなっています。
	緑色/黄色/赤色	N/A	バッテリーの充電レベル表示 (トリガを 3 秒間押し続けると作動します)。 <ul style="list-style-type: none"> • 緑色 > 40% • 黄色 10% ~ 39% • 赤色 < 9%
充電の表示	黄色	N/A	スキャナが充電中です。バッテリーレベルが 0% ~ 98% です。
	緑色	N/A	スキャナが充電されました。バッテリーレベルが 98% ~ 100% です。
	赤色で点滅後、点灯しない	N/A	スキャナの温度が高すぎます。スキャナの温度が低下するまで充電は一時停止します。 ^a
パラメータプログラミング	赤色	長い低音/長い高音	入力エラー、不適切なバーコードまたはスキャンの [Cancel] (キャンセル)、間違った入力、不適切なバーコード プログラミング シーケンスなどで、プログラムモードが完了していません。
	緑色	高音/低音/高音/低音	パラメータ設定を変更して、プログラムを正常に終了しました。
メンテナンスの表示	緑色でゆっくり点滅	N/A	スキャナが 123Scan に接続されています。
	赤色ですばやく点滅	N/A	123Scan 経由でファイルがスキャナ (新しい構成パラメータまたはファームウェア) に転送されています。
	赤色でゆっくり点滅	N/A	ファームウェアのインストール。
	緑色	N/A	123Scan 経由でプログラミングが正常に完了しました (パラメータの変更またはファームウェアの更新)。

^a スキャナの温度が許容レベルに達すると、充電が自動的に再開されます

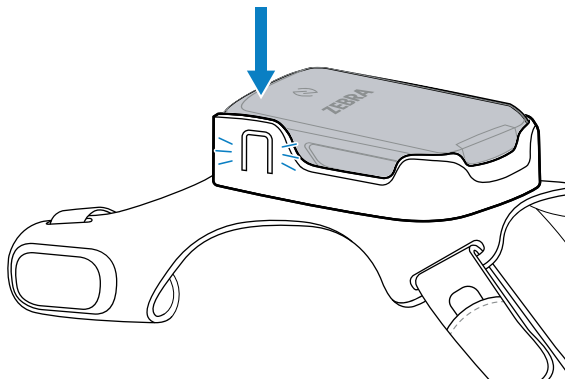
スキャナの取り付け

スキャナをスリム マウントに取り付けます。

1. スキャナのLED 側をプラスチック スロットに押し込みます。



2. スキャナの前端をスロットに押し込みます。タブがスキャナのタブ ノッチ付近で閉まるまで、しっかりと押し込みます。



スキャナを使用する準備ができました。



注: 新しいスキャナの場合:

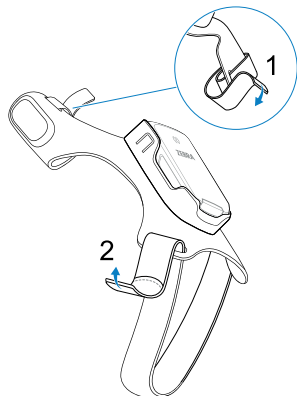
低電力モードを終了するには、スキャナを充電するか、スキャントリガを押します。

充電手順については、「[2 スロット充電器](#)」を参照してください。

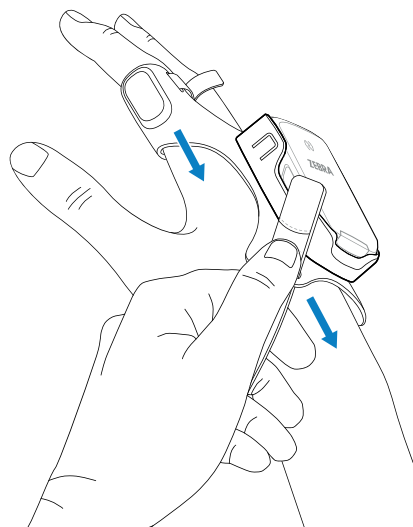
スリムマウントを手に装着する

スリム マウント を使用して RS2100 を手に装着します。

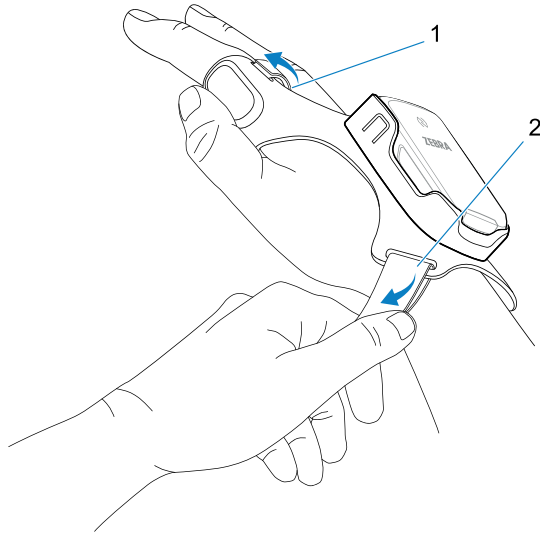
1. フィンガーストラップ (1) とリストストラップ (2) を緩めます。



2. 手をリストストラップに通し、人差し指をフィンガーストラップに通します。



3. リストストラップ (1) が手首にぴったりと収まり、フィンガーストラップ (2) が指の付け根に来るまで、マウントを手の上に引っ張ります。



4. リストストラップとフィンガーストラップを固定します。

Bluetooth 接続

RS2100 は、読み取られたバーコード データを Bluetooth を使用して Zebra モバイル コンピュータやその他のデバイスに送信します。

NFC タップツーペアを使用したペアリング

RS2100 は NFC 対応で、Bluetooth タップツーペアに対応しています。

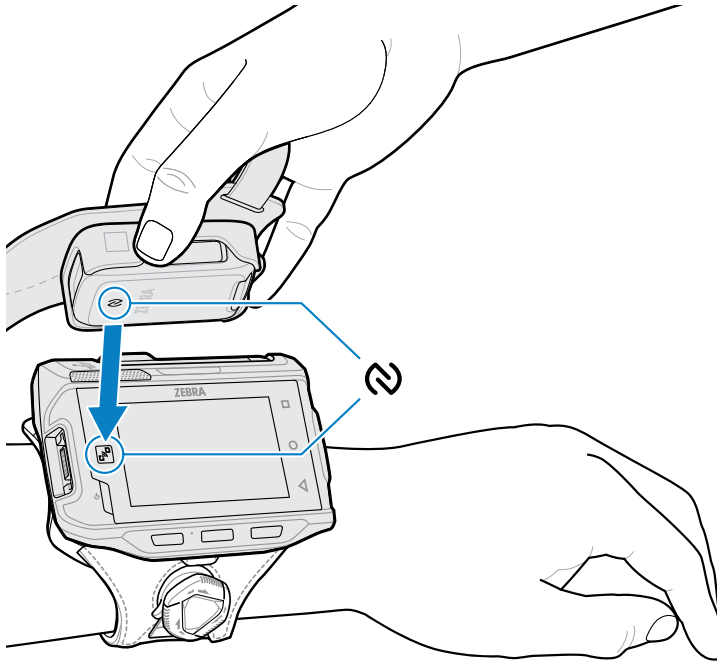


注: すべての Zebra デバイスが NFC リーダーとタップツーペア機能に対応しているわけではありません。

NFC 対応の Zebra デバイスに接続するには、次の手順を実行します。

1. NFC がデバイスで有効になっていることを確認します。
NFC を有効にするには、製品の『Product Reference Guide』を参照してください。
2. RS2100 の NFC アイコンとデバイスの NFC アイコンを合わせます。

RS2100 がデバイスとの接続を確立しようとしていることを示す、通知 LED が青色で点滅します。接続が確立されると、通知 LED が消灯し、RS2100 で低いビープ音と高いビープ音が続けて鳴ります。



Zebra モバイル デバイスとのペアリング

RS2100 は SSI Bluetooth ペアリングに対応しています。Bluetooth 対応の Zebra モバイル デバイスとペアリングして、スキャン データを送信するか、スキャナを設定します。

1. デバイスで、[Settings] (設定) > [Bluetooth Pairing Utility] (Bluetooth ペアリング ユーティリティ) を開きます。

[Bluetooth Pairing Utility] (Bluetooth ペアリング ユーティリティ) が開きます。

2. RS2100 を使用して、画面でバーコードをスキャンします。

RS2100 がデバイスとの接続を確立しようとしていることを示す、ステータス LED が青色で点滅します。接続が確立されると、ステータス LED が消灯し、RS2100 で低いビープ音と高いビープ音が続けて鳴ります。デバイスで、ペアリングが成功したことを示すトースト通知 (音声および画像) が表示されます。Bluetooth 接続が確立されると、デバイスの画面上にダイアログ ボックス通知が表示されません。

3. デバイスで、メイン画面に戻ります。

消費者向け Bluetooth デバイスとのペアリング

RS2100 は HID Bluetooth ペアリングに対応しています。Bluetooth 対応の消費者向けデバイスとペアリングして、スキャン データを送信するか、スキャナを設定します。

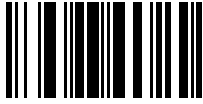
1. 『RS2100 Product Reference Guide』を使用して、スキャナで HID Bluetooth プロファイルを有効にします。
2. モバイル デバイスの設定を開きます。
3. Bluetooth ペアリング ページに移動します。
4. RS2100 XXXXXXXX を選択します。XXXXXXX はスキャナの ID です。

RS2100 がデバイスとの接続を確立しようとしていることを示す、通知 LED が青色で点滅します。接続が確立されると、通知 LED が消灯し、RS2100 で低いビープ音と高いビープ音が続けて鳴ります。

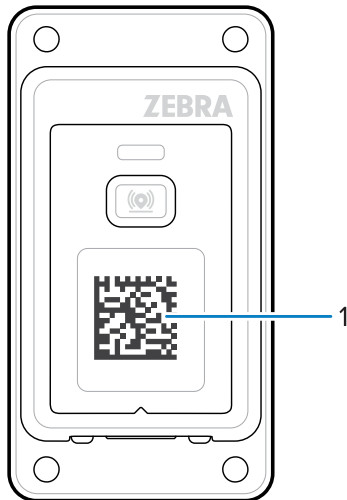
Bluetooth アダプタとのペアリング

RS2100 Bluetooth プロファイルは、スキャンツーペアに対応しています。ペアリング コードをスキャンして、Bluetooth アダプタ (BT-RS5X6-DNGL-01) とペアリングします。

1. スキャナが工場出荷時のデフォルト モードになっていることを確認します。スキャナを工場出荷時のデフォルト設定に戻すには、工場出荷時のデフォルト バーコードをスキャンします。



2. RS2100 を使用して、アダプタのペアリング コード (1) をスキャンします。



RS2100 がデバイスとの接続を確立しようとしていることを示す、ステータス LED が青色で点滅します。接続が確立されると、ステータス LED が消灯し、RS2100 で低いピープ音と高いピープ音が続けて鳴ります。

バーコードのスキャン

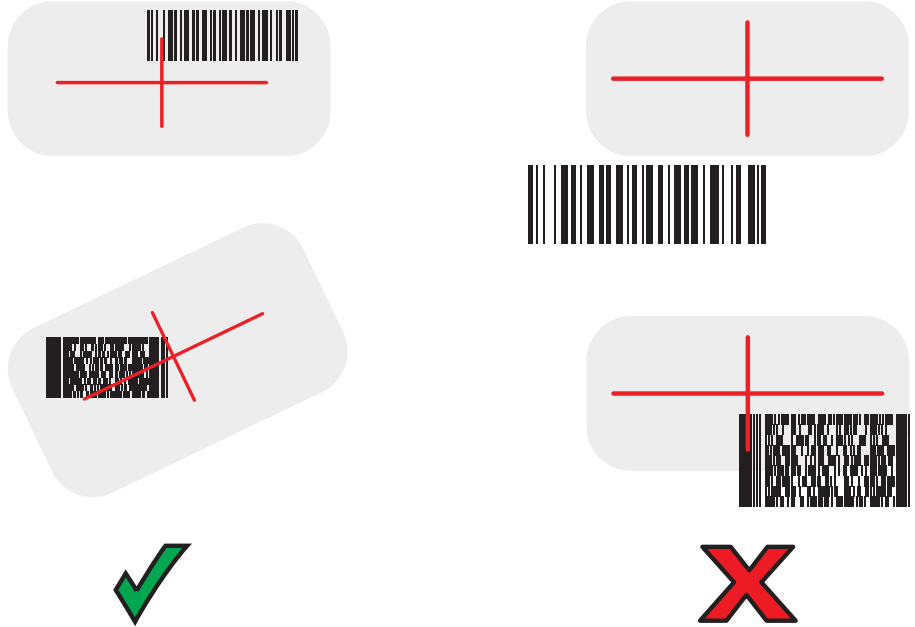
RS2100 では、デジタル カメラを使ってバーコードの画像を撮影し、ソフトウェア アルゴリズムによって画像からバーコード データを抽出します。

1. イメージャ ウィンドウをバーコードに向け、スリム マウントのスキヤントリガを押します。



注：イメージャの読み取りは通常、瞬時に行われます。デバイスがピックリスト モードの場合、赤い十字線がバーコードに当たるまでスキャナはバーコードを読み取りません。

2. 照準パターンの領域にバーコードが納まっていることを確認します。



ステータス LED が赤く点灯します。読み取りが成功すると、ステータス LED が赤色から緑色に変わり、ビープ音が鳴ります。

充電

2 スロット充電器を使用して RS2100 を充電します。



注：この充電器に通信機能はありません。



注：『RS2100 Product Reference Guide』に記載されている、バッテリーの安全に関するガイドラインに従ってください。

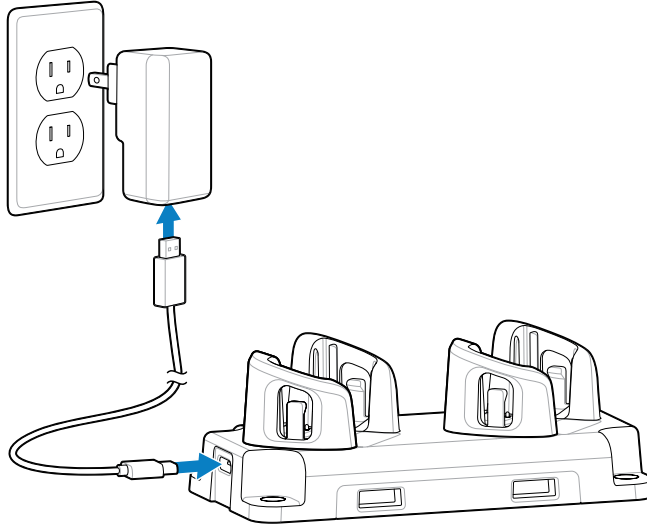


重要：スキャナはバッテリー節約モードで出荷されます。バッテリー節約モードを終了してスキャンを有効にするには、スキャナを充電器に挿入します。

2 スロット充電器

2 スロット充電器は、最大で2台のスキャナを充電できます。

図3 2 スロット充電器



バッテリーの充電

RS2100 の LED はスキャナのバッテリーの充電状態を示し、。

状態	表示
オフ	スキャナのが充電されていません。 RS2100 が正しく挿入されていません。 充電器に電力が供給されていません。電源ケーブルと電源を確認してください。
黄色で点灯	スキャナのが充電中です。
緑色で点灯	スキャナのが充電が完了しています。
赤色で速く点滅 (1 秒間に 2 回点滅)	充電エラー。例: <ul style="list-style-type: none"> • バッテリーの温度が、充電するには低すぎるか高すぎる。 • バッテリーの充電サイクルがタイムアウトに達した。バッテリーが、フル充電サイクルの目安時間 (通常 8 時間) を経過しても充電できない。

バッテリーは、5～40°C (41～105°F) の温度で充電してください。標準バッテリーは、室温で 2.5 時間以内に 0% から 90% に充電されます。充電温度が 5～10°C (41～50°F) の場合は、標準バッテリーは 5 時間以内に充電されます。

デバイスおよび充電器は、バッテリーの温度を監視します。バッテリーの充電は、バッテリーが安全な充電温度範囲内にあるときにのみ実行されます。高温時 (約 +35°C 以上 (+95°F 以上)) には、デバイスまたは充電器はバッテリーを適切な温度に保つため、短時間でバッテリー充電を中止したり、再開することがあります。

す。このプロセスにより、充電時間が長くなる場合があります。RS2100 は、異常な温度のために充電を行えなくなると、ステータス LED でそれを示します。

スキャナの保管

RS2100 のバッテリーは、保管中に使用されなくても消耗します。長期保管の場合は、低電力モードを有効にしてください。

低電力モードでは、スキャナ バッテリーが節約され、スキャナのバッテリー レベルが回復不能なほど低くなるのを防ぎます。低電力モードにするには、こちらのバーコードをスキャンしてください。



低電力モードを終了するには、スキャナを充電するか、スキャン トリガを押します。

人間工学的な考慮事項

スキャナを使用すると、ユーザーには次のようなメリットがあります。

- 作業手順を改善する
- 頻繁に使用するものを手の届く範囲内に配置する
- 自然な姿勢を保つ
- 適切な高さで作業する
- 適切な距離を保つ
- 適切な作業環境を用意する
- 直接圧力を受ける作業を軽減または排除する
- 過度に力が必要な動作を軽減または排除する
- 同じ動作の繰り返しを軽減または排除する
- 振動が発生する作業を軽減または排除する

